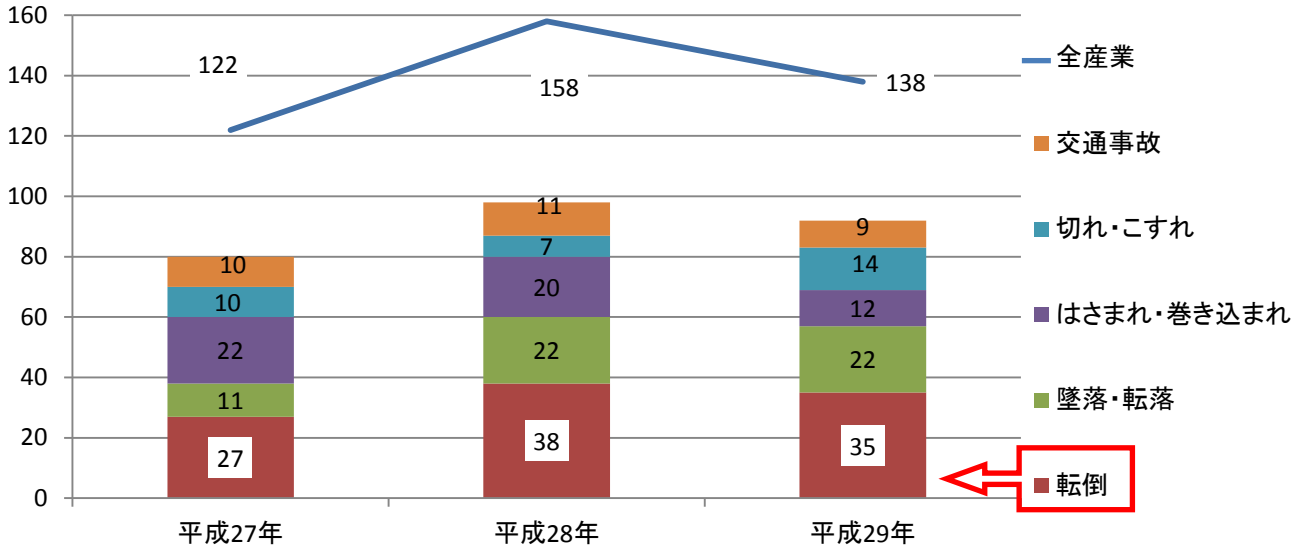


# STOP！転倒災害プロジェクト

## 岩国労働基準監督署

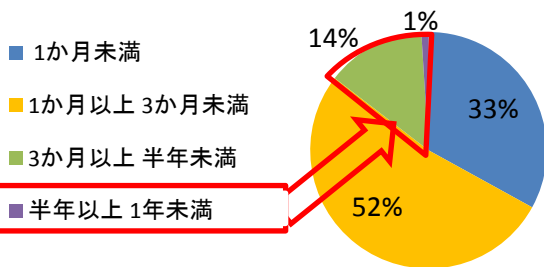
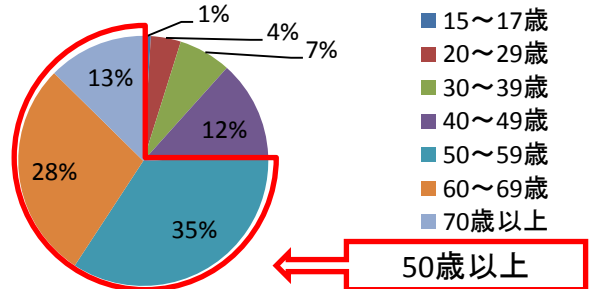
全国では、仕事中の転倒災害(休業4日以上)が年々増加しており、平成29年では28,310件(24.0%)が発生し、事故の型の中でも4分の1以上を占め、最も多く発生しています。転倒災害は今、長期の休業につながる事が多く、深刻な問題になっています。一方、山口県内における平成29年の転倒災害は、287件(22.4%)、当署管内では35件(25.3%)が発生し、全国同様、ともに、最も多い事故の型となっています。

このため、厚生労働省では、平成27年1月から「STOP！転倒災害プロジェクト」を開始し、転倒災害防止のための取組を行っています。具体的な転倒防止対策については、裏面を参照ください。



### 1 年齢別の転倒災害発生状況(H27~29)

- 当署管内では、平成27年から平成29年までの3年間で、休業4日以上転倒災害が100件発生し、全体の約25%を占めています。
- 災害の発生状況を年齢別にみると、50歳以上の労働者による転倒災害が全体の約4分の3を占めています。

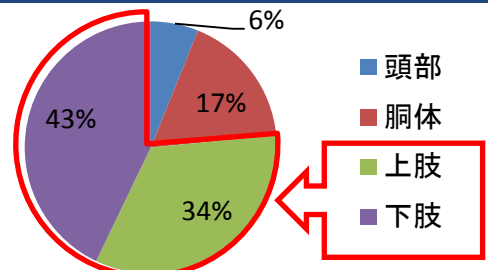


### 2 休業見込別の転倒災害発生状況(H27~29)

- 全体の約7割が1か月以上の休業となっています。
- 3か月以上の休業が全体の15%を占め、長期の休業となるケースも少なくありません。

### 3 傷病部位別の転倒災害発生状況(H27~29)

- 最も多い傷病部位は、下肢と上肢で全体の約8割を占めています。
- 傷病の性質としては、全体の約7割が骨折となっています。



# 転倒災害防止対策のポイント

## ①設備管理面の対策[整理・整頓・清掃・清潔]

- 歩行場所に物を放置しない
- 床面の汚れ(水、油、粉等)を取り除く
- 床面の凹凸、段差等の解消



## ②転倒しにくい作業方法[あせらない 急ぐ時ほど 落ち着いて]

- 時間に余裕を持って行動
- 滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行
- 足元が見えにくい状態で作業しない



## ③その他の対策

- 作業に適した靴の着用
- 職場の危険マップの作成による危険情報の共有
- 転倒危険場所にステッカー等で注意喚起
- 体操による筋力維持・アップ



あなたの職場は大丈夫？ 転倒の危険をチェックしてみましょう

### チェック項目



- |   |  |                          |
|---|--|--------------------------|
| 1 | 通路、階段、出口に物を放置していませんか                       | <input type="checkbox"/> |
| 2 | 床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか         | <input type="checkbox"/> |
| 3 | 安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていますか            | <input type="checkbox"/> |
| 4 | 転倒を予防するための教育を行っていますか                       | <input type="checkbox"/> |
| 5 | 作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいますか | <input type="checkbox"/> |
| 6 | ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか  | <input type="checkbox"/> |
| 7 | 段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていますか          | <input type="checkbox"/> |
| 8 | ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか                  | <input type="checkbox"/> |
| 9 | ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか               | <input type="checkbox"/> |